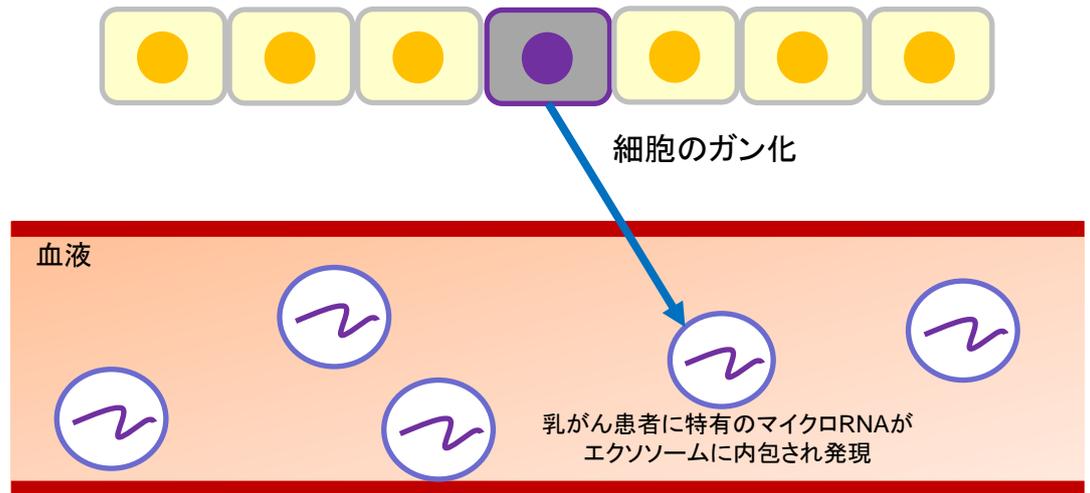


マイクロRNA解析によるがんのリスク判定 ミアテスト®乳がんリスク検査

<ミアテスト®乳がんリスク検査とは？>

マイクロRNAの解析により乳がんのリスクを調べる検査です。マイクロRNAは遺伝子の発現調節の機能を有すると考えられており、がん細胞からも特定の種類のものが発現し、量も変動することが明らかになっています。本検査では乳がん患者に特異的に増減する数種類のマイクロRNAを測定に用いています。



マイクロRNAは数千種存在し、がん種によりその種類や量が異なると考えられています。

<ミアテスト®乳がんリスク検査の特徴>

本検査で測定している血中マイクロRNA量は、がんのステージや腫瘍の大きさには依存せず変化します。腫瘍マーカーが反応する前段階や画像検査で見つけることが難しい1センチ以下のがんでも早期発見できる可能性があります。

ミアテスト®と従来のがん検査

小

がん腫瘍の大きさ

大



腫瘍マーカー

画像検査

ミアテスト®乳がんリスク検査

ミアテスト®乳がんリスク検査をスクリーニングに用いることで
乳がんの早期発見・早期治療の可能性を高めることが可能です。

<報告レポートイメージ>

検査は乳がん患者に特異的に反応する数種類のマイクロRNAの解析を行い、紙面レポートにて報告します。判定はA～Eの5段階で判定しており、これまでに健常人でしか検出されていない領域をA判定、これまでに疾患群でしか検出されていない領域をE判定としています。C、D、E判定の方には精密検査の実施を推奨しています。

受診ID: 12345 性別: 女性
 受診日: 2017/1/1 年齢: 40

乳がんリスク判定結果

あなたの乳がんリスクは **D判定** と判定されました。
 必要に応じて精密検査の受診などを医師へご相談下さい。

今回(2017/1/1) 今回(2016/1/1) 前々回(2015/1/1)

A判定	B判定	C判定	D判定	E判定
		★	★	

← 低い 乳がんのリスク 高い →

総合評価コメント

ミアテスト®乳がんリスク検査は乳がんに罹患している方に特徴的なマイクロRNA（アールエヌエー）の量を測定し、乳がんの罹患リスクを予測しています。今回の検査結果では乳がんに関連するマイクロRNAの量は乳がんに罹患している方に近い状態であり、乳がんのリスクが高いと判定されました。本結果のみで疾患を確定するものではありませんが、必要に応じて専門家の受診や精密検査の受診をご検討下さい。

※本検査は疾患の診断を行うものではなく、検査結果は疾患の発症および進行、生活習慣改善の方法を確定させるものではありません。

ミアテスト®乳がんリスク検査について

ミアテスト®乳がんリスク検査では血液中に存在するマイクロRNA(アールエヌエー)という物質を測定しております。マイクロRNAとは遺伝子の調整役として機能する物質で、細胞の発生や増殖などに関わっているといわれています。がん細胞からもマイクロRNAが分泌されており、がんの増殖や転移に関係していることが最近の研究で明らかになってきています。また、がんの種類によっても分泌されるマイクロRNAは様々な種類があることも分かっています。本検査では、数千存在するマイクロRNAの中から、乳がん患者にだけ特異的に変化するマイクロRNAを数種類まで絞り込み検査をしております。検査の判定では、これまで健常人でしか見られていない発現量の領域をA判定、これまでに乳がん患者でしか見られていない発現量の領域をE判定としております。

ミアテスト®乳がんリスク検査を受診された後に...
 本検査でリスクが高かった方には精密検査の受診をおすすめしています。

ミアテスト®乳がんリスク検査	低リスク	リスクは比較的低い状態です。引き続き、定期的にミアテスト®乳がんリスク検査を受診し疾患リスクを確認してください。
	A判定	
	B判定	
	中リスク以上	リスクは比較的高い状態です。必要に応じて、専門家の受診や精密検査の実施をお勧めします。
	C判定	
	D判定	エコー検査 乳癌用の超音波診断装置を用いて、乳房内臓器に出来かたによりついで異性、悪性を調べます。
	E判定	マンモグラフィ検査 X線を使用し、腫瘍の有無、大きさや形、石灰化の有無を調べる検査です。 乳腺MRI MRI検査に造影剤を利用して乳がんの探索を行う検査です。

検査項目名	ミアテスト®乳がんリスク検査
検体量	全血 6 mL (※施設にて遠心処理を行って頂く必要がございます)
容器	血清分離剤入り容器
保存(安定性)	冷蔵
報告期間	30日
測定・解析機関	株式会社ミルテル
検査方法	qRT-PCR法
備考	ミアテスト®乳がんリスク検査は乳がんのリスクを判定する保険未収載の検査です。本結果のみで乳がんの有無を判定する検査ではありません。他検査の結果と併せて今後の検査・治療方針の検討にお役立て頂くことをお勧めします。

参考文献:

1. Dan Xu, et al, miR-22 represses cancer progression by inducing cellular senescence. J Cell Biol. 2011 Apr 18; 193(2): 409-424
2. 株式会社ミルテルホームページ <https://www.mirtel.co.jp/>